

今年話題の産業人

残りわずかとなった2011年。ピンチをチャンスに変え、正義を貫き、夢をかなえた産業人らがいる。激動の年を話題の人と振り返る。

国内生産を死守



トヨタ自動車社長 豊田 章男氏

「石にかじりついてでも日本の競争力強化の取り組みを実行する」。国内のモノづくり強化に向け、長年議論してきた車体会社の再編を決断した。2012年にトヨタ車体と関東自動車工業を完全子会社化し、東北に生産拠点を持つ3社を合併する。トヨタ自動車の一工場ではなかった車体メーカーが開発から調達、生産までこなす総合車両メーカーとして自立する意義は大きい。グループ各社の力を底上げし、円高など6重苦でも年間300万台の国内生産を維持する。

宇宙滞在 日本人で最長



JAXA 宇宙飛行士 古川 聡氏

国際宇宙ステーション(ISS)で日本人最長となる167日間滞在し、11月22日に地球に帰還した。帰還直後、半年ぶりの地球は?との問いに「重力を感じる。重力のおかげですに座れますから」と笑顔で話した。医師出身の古川さんは宇宙滞在中、自ら被験者となって医療やバイオなどの実験に挑んだ。「将来誰もが気軽に宇宙に行ける時代の準備になれば」と宇宙が一般の人にも身近になる時代を願う。(写真・宇宙航空研究開発機構(JAXA)/NASA/Bill Ingalls)



元オリンパス社長 マイケル・ウッドフォード氏

不正を告発 抜てき社長

オリンパスが過去に実施した国内外4社の買収について、資金の流れの不透明さを告発して社長職を解かれた。孫会社出身の生え抜き外国人として異例の本社社長に抜てきされたから、わずか半年後の解任劇だった。同氏の告発は、ほぼ同時期に発覚した大工製紙の特別責任容疑事件とあわせて、企業のガバナンスの在り方を問うきっかけになった。「経営陣の刷新と銀行の支援があれば再建できる」と主張。委任状争奪戦(プロキシファイト)で社長復帰を狙う。

「激動の年」果敢に挑戦

米アップル創業者 スティーブ・ジョブズ氏



業績不振に陥った米アップルを復活させたばかりか、スマートフォン(多機能携帯電話)「iPhone(アイフォン)」など世界的ヒット商品を続々と世に送り出したカリスマ経営者が逝った。次代を見通す眼力と、歯にきぬ着せぬ言動は世界中の人々を魅了。アップル製品からは「ジョブズ氏の息づかいが伝わってくるようだ」とまで言わしめた。死去は、くしくも新型のiPhone4Sの発表会の翌日。その生き様はカリスマ伝説となった。(写真・ブルームバーグ)



ソフトバンク社長 孫 正義氏

東京電力福島第一原子力発電所での事故を機に、再生可能エネルギーの活用を議論する機運が高まった。その中で大きな存在感を放ったのが孫正義ソフトバンク社長。私財10億円を投じて「自然エネルギー財団」を設立し、複数の自治体で政策提言を行う「自然エネルギー協議会」の立ち上げにも関与した。さらに会社の定款を変更しエネルギー事業への参入を表明。同事業で得られる利益や配当について「少なくとも40年間1円もいらない」と宣言し、今後はその実行力が試される。

再生エネに照準

菊池製作所社長 菊池 功氏



「社員とその家族、多くの人に支えられて上場できた」。10月28日、苦難に直面しながらも大阪証券取引所のJASDAQ市場に株式公開した。東日本大震災で福島県飯館村の主力工場が被災。現在も東京電力福島第一原子力発電所事故の計画的避難区域に設定され、従業員の累積線量を管理するとともに村と協力して地域の除染を進める。本業の試作や金型は、新興国企業との競争が激化し経営環境は厳しさを増す。放射能や円高など何重もの逆境の中で復興のシンボルとなるか。試練への挑戦が続く。

苦境の中で悲願の上場

米MITメディアラボ所長 伊藤 穰一氏



表現やコミュニケーションにかかわるデジタル技術の研究で最先端を行く米マサチューセッツ工科大学(MIT)メディアラボ。第4代の所長に日本人で初めて就任した。インターネット黎明(れいめい)期からの起業家で投資家。ネット上で著作物共有を促進させる非営利団体クリエイティブ・コモンズの議長などを務め、世界のネットコミュニティーに大きな影響力を持つ。同ラボを創設したネグロポンテ初代所長も発表コメントで「メディアラボを未来に向かって前進させるのに欠かせない所長だ」と期待を表明した。(写真・MITメディアラボのホームページから)

日本人初の所長に

体張った事故対応に称賛

11月中旬まで福島第一原子力発電所の現場のトップとして事故対応の指揮を執った。発生直後には本社からの指示に反して原子炉への海水注入を断行。その行動は賛否を呼んだが、結果的には最悪の事態を食い止めた。その後も事態の収拾に努め、多くの批判を浴びる現役幹部(本人は執行役員)にあって、唯一世論から称賛や激励を受け続けてきた。しかし健康診断で食道がんが見つかり、無念のドクターストップ。11月24日に入院し、12月1日付で所長を辞した。



前東京電力福島第一原子力発電所所長 吉田 昌郎氏

旭化成社長



藤原 健嗣氏

「世界で戦って勝てる事業への投資は惜しまない」と、1兆円の大規模投資を決めた。高い世界シェアを持つ製品の海外投資を進め、合成樹脂原料であるアクリロニトリルの生産能力を2015年度までに倍増させる。低燃費タイヤの原料となる溶液重合合法スチレンブタジエンゴムの生産能力も3倍にする。「決断したことをどんどん進める馬力がある」との評価を裏付けた。一方で、グループ各社の技術を融合して新事業を生み出すプロジェクトも始動。「新しい社会価値を生み出せる投資も積極化させる」構えだ。

5カ年で1兆円投資

創造力で“安心”をカタチに。

私たち大同信号は、鉄道信号事業を通して列車運行の「安全」と「信頼」を支え、“安心”を提供しつづけてまいります。

DAIDO
大同信号株式会社

〒146-8678 東京都大田区仲池上2-20-2 ☎03-3754-1122(代) www.daido-signal.co.jp

日刊工業案内

●お知らせ
本紙年内広告の年内掲載は本日を以て終了とし、明年1月13日付より平常通り掲載させていただきます。ご了承ください。お申し込みは12月15日(金)までです。

●機 械
◆在庫即納◆

●中古機取替
東買中古機取替株式会社
TEL.03-3611-5401 FAX.03-3611-5401

●板金機械・工作機械・鍛圧機械
二島機械
http://www.futajima-kikai.com
TEL.093(961)8385 FAX.093(961)8384 E-mail:info@futajima-kikai.com

立体図面の専門家、テクニカル・イラストレーターになりませんか

テクニカル・イラスト 通信講座

カタログに、広告に不可欠なテクニカルイラスト。テクニカルイラスト…いわゆる機械や部品などの立体図面は、カタログ、広告、取扱説明書、部品リストなどに不可欠なものとなっています。製品の、複雑な装置、生産システムなどを、普通の平面図に比べ、わかりやすく説明でき、その外観、内部構造などを誰にでもすばやく、簡単に理解させ、販売や営業に役立てることができるからです。

※お問い合わせ先 日本産業広告協会
〒103-0041 東京都中央区日本橋區船場2-11-3 船場水天宮ビル6F
TEL 03-5645-8852(代) FAX 03-5645-8853 後援/日刊工業新聞社

●受講コース開講期間
●申込時期
●教育内容
●修了卒業
●修了単位
●修了料
●修了料
●修了料